

# 太鼓や音楽でつなぐ笑顔の輪

## ～竹太鼓から地域交流のかけ橋へ～

子ども達の声にとことん耳を傾け「やってみたい！！」  
の気持ちに寄り添い自分で考え、  
チャレンジする力・めげない心を大切に育んでいく



社会福祉法人 北信福祉会  
ほくしん保育園・あづま保育園



# 音楽でつなぐ 笑顔の輪



子ども自身が自分の思いや意思を受け止め、自ら太鼓の楽しさを味わいながら遊びこんでいく中で、挑戦する心、あきらめず続ける気持ちを経験の中で培ってきました。



竹太鼓や和太鼓を通して、性別・国籍・特性の有無を乗り越え、世代間のつながりを感じることができました。沢山の方との笑顔に出会うことで、相手を思いやる心、感謝の気持ちを育んだ1年間となりました。

## <コミュニケーション力の向上>～友達からの学び～

子ども達の自主性・主体性を引き出す為に、サークルタイムを取り入れています。



友達同士意見を出し合う中で、ぶつかったり励まし合ったりしながら、相手を思いやる心が育まれてきた。

子ども達同士で話し合う中で「こうしてみたい!」の気持ちを汲み取り、失敗と成功体験を繰り返し形にしていく。



# <太鼓を通しての成長＝広がり>

子ども達のアイデアを取り入れ形にしていく過程からの学び

太鼓や園生活を通し、どうしていきたいか子ども達同士話し合う時間を設けた。初めは「自分の意見」を一方向的に話したり、伝えてしまったりする姿が多く、ぶつかり合ってまとまることが難しかった。

けれど...

話し合いを重ねるごとに...

つまづきがあった時  
「サークルタイム」を  
取り入れ皆で考えた

少しずつ相手の話  
に耳を傾けられるよう  
に変わってきた

《結果》

相手を思いやる気持ち、様々な角度から考える力、クラスの皆の気持ちと一緒に  
なるようにしていくにはと考え…話し合う  
力が、子ども達の中で培われ始めた。

繰り返しの中で一人ひとりの  
充実感・チームとしての  
達成感へ導いていった。

# <地域交流を通して＝広がり>

## 人と人とのつながりからの学び

子ども達一人ひとりやチームとしての達成感から、「次はこんなことをしてみたい!」みんなで決めて頑張ってきたことを見てもらいたいなど、多方面への意欲へとつながっていった。



老人ホーム、地域の方との関わりの中で「ありがとう」の言葉を受け、子ども達にうれしい気持ちが芽生えた。



沢山の人との関わりの中で、人に感謝され、笑顔で喜んでくれる姿から温かさを感じ、子ども達の心に優しさが育つ。



地域や老人ホームの方との出会いから、自分達も感謝する気持ちを伝えたいと思い、その思いをどうやって伝えれば喜んでもらえるかと考えるようになり、年下児にも自然に優しい言葉かけが園の中で広がっている。





# まとめと課題



- ◎子ども達同士が自由に表現する中で、想像力が高まり、相手と合わせる気持ちが芽生える。
- ◎相手の為に「やってあげたい！」という心の広がりが見えてきた。
- ◎一人ひとり団結して一緒に取り組む中で「気づき」が生まれ、心の育ちと共にたくましくなっていた。
- ◎竹太鼓のつながりにより、姉妹園や他園との交流の機会が増え、様々な友達と触れ合うことができた。



太鼓以外の楽器も取り入れる中で様々な音楽に触れ、「やってみたい！」の経験を積み重ねていけるよう、保育の広がりを深め、無限の可能性を引き出しながら意欲の芽を育てていきたい。